

- 自律 目標に向かって自分自身を律する
- 感謝 思いやりや感謝の気持ちをもつ
- 貢献 地域社会に貢献する態度を養う
- 創造 持続可能な社会の創造に挑戦する

啐啄同時



2022.4.8 第 1 号

初めまして、

この度の定期異動で、小林市立細野中学校から赴任いたしました川島正寛と申します。

校長室便りでは、私なりの考え、学校での生徒の様子など、校長の目に止まった文章からの想いなどお伝えしたいと思います。生徒や保護者だけでなく、地域の方にも読んでいただけるとありがたいです。

校長室便りの名称を『啐啄同時』としました。

新天地で初心に戻り学校経営に関わっていききたいとの思いで、尊敬する校長先生が通信のタイトルとして使っていた言葉を名付けて発行します。

啐・・・「呼ぶ、鳴く声」

啄・・・「つつく、ついばむ、くちばし」

この意味は、鶏が卵からかえるとき殻の中で鳴くひながつつくのが「啐」、親鶏が外から殻をつつくのが「啄」、これらが内外相呼応することから、すべて両方の機運の熟した絶好の機会をいいます。これはまさに教育の真髄だと言えます子どもが送るかすかな心の想いに対し、機を逸することなく、いつでもすぐ対応してやれるような教師や親でありたい。そういった願いが含まれています。

保護者の皆様と共に成長していければと思います。1年間よろしくお願いいたします。

～ 自己紹介 ～

教職生活 35 年目に突入しました。

南郷町立南郷中学校 5 年（今は日南市）、都城市立小松原中学校 8 年、都城市立志和池中学校 4 年、日之影町立日之影中学校 4 年、三股町立三股中学校 4 年（主幹教諭 3 年）。

教頭として、五ヶ瀬町立三ヶ所中学校 3 年、延岡市立土々呂中学校 2 年、延岡市立南中学校 1 年。

校長として、延岡市立北浦中学校 2 年、小林市立細野中学校 1 年を経て本校に赴任しました。

出身は都城市、専門教科は数学で部活動はバスケットボールに長く関わってきました。

